

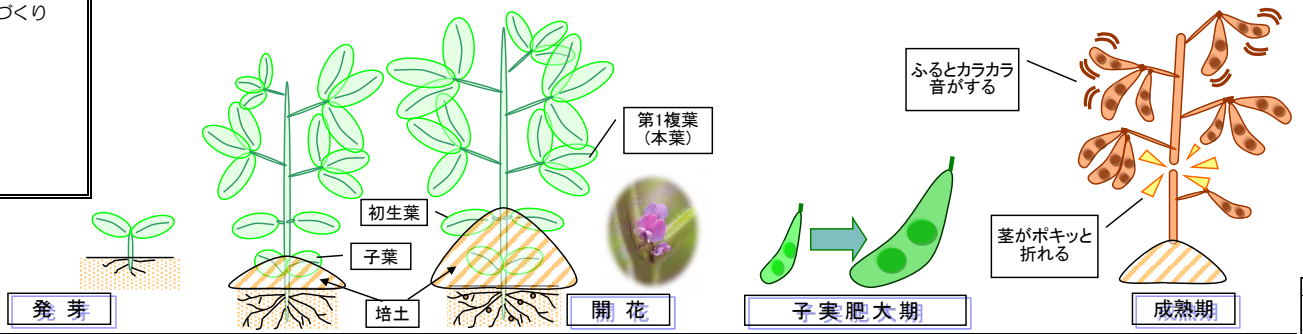
# 大豆栽培ごよみ(畦立)

黒部市農業協同組合  
新川農林振興センター  
黒部市農業技術会議  
H31.04

＜大豆300kgあたりの収量構成要素＞

10a当株数	14,000株	1株当英数	43.2英
1英当粒数	1.8粒	百粒重	28g
(14,000×43.2×1.8×0.028=300kg超)			

- 名水の里 黒部 大豆栽培の要点
- ①大豆づくりは排水第一
  - ②石灰質資材と堆肥等有機物の施用で土づくり
  - ③種子処理剤の施用
  - ④乾いた状態での適期播種
  - ⑤中耕培土と除草対策の徹底
  - ⑥干ばつ時の畦間かん水
  - ⑦病害虫防除の徹底
  - ⑧適期刈取と的確な乾燥調製



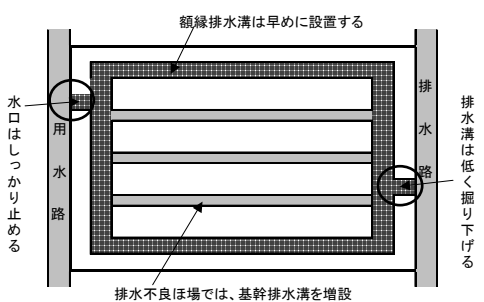
生育期除草剤(100%散布/10a)

対象雑草	除草剤名	必要量	備考
イネ科	ホルトフロアブル	300ml	雑草茎葉散布 イネ科雑草3~10葉期 刈穫30日前まで 1回のみ
非選択性	ロックス水和剤	200g	畦間・株間処理 雑草草丈15cm以下 刈穫30日前まで 1回のみ
広葉	大豆ハサグラン液剤	150ml	大豆2葉期~開花前 雑草茎葉散布 雑草生育初期 刈穫45日前まで 1回のみ
イネ科	ナブ乳剤	200ml	雑草茎葉散布 イネ科雑草3~5葉期 刈穫30日前まで 1回のみ
非選択性	ハスタ液剤	500ml	畦間処理(雑草生育期) 株間処理(大豆5葉期以降) 3回まで 刈穫28日前まで

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
作業	①排水対策 排水溝と排水口の連結	②土壌改良資材等の施用 ③種子の準備 ④播種 ・畦立 ・基肥施用 ・除草剤散布	⑤培土(1回目) 排水溝の手直し ⑤培土(2回目) 排水溝の手直し ⑦基本防除(1回目)	⑤培土(2回目) 排水溝の手直し ⑦基本防除(2回目)	⑥畦間かん水 ⑦基本防除(3回目) 子実が米粒の大きさ	⑧収穫 JA乾燥調製施設の利用 (品質の均一化)	

## ①排水対策

- ・春先までに額縁排水溝と基幹排水溝を設置し、排水口につないで雨水をためない
- (透水性の悪いほ場では、心土破碎を行う)



## ②土づくり

- ・pH6.5を目標に、石灰質資材を耕起前に施用する  
(粒状貝化石150kg、チャンピオン60kg散布でpH5.5→6.5)

	肥料名	施用量/10a
酸度矯正	粒状貝化石	150~200kg
	チャンピオン	60kg
有機物	牛ふん堆肥	2t
	豚ふん堆肥	1t
	発酵けいふん	150kg
	ヘアリーベッチなど地力増進作物の鋤きこみ	

堆肥などは前秋に散布を終えましょう

## ③種子の準備

種子の更新...自家種子の連用は品種特性退化と病害発生の原因!  
播種量及び栽植本数の目安(畦立)

品種	播種時期	播種量/10a当り	栽植本数/10a
エンレイ	5月下旬~6月上旬	4.9~5.6g	14,000~16,000
	6月中旬	5.6~6.3kg	16,000~18,000
シュウレイ	5月下旬~6月上旬	5~6.2kg	12,000~15,000本
	6月中旬	6.2~7.4kg	15,000~18,000本
オオツル	6月上旬~中旬	5~5.8kg	12,000~14,000本

注)大粒の百粒重:エンレイ 31.6g、シュウレイ 37.1g、オオツル 37.2g  
苗立率90%の場合

種子処理剤名	処理方法	対象病害虫
クルーザーMAXX	種子5kgに40ml塗抹(1kg当り原液8ml)	炭疽病、茎疫病、リソクニア根腐病、タネバエ、ハト、ネキリムシ類、アブラムシ類、フタスジハムシ類
クルーザーFS30	種子5kgにクルーザーを30mlまでで塗抹する1分間ほど広げて乾かす	炭疽病、タネバエ、ハト
キヒゲンR27077A	クルーザーが乾いたら、種子5kgにキヒゲンを100mlをまぜて塗抹する広げて乾かす(1kg当り原液20ml)	炭疽病、タネバエ、ハト

## ④播種

- ・必ずほ場が乾いた状態で播種をする
- ・畦立同時播種技術もあわせて実施・湿害回避
- ・播種速度は30aを70分で終える速度(3連)

播種機日皿	スプロケット目安	播種深度
B-2	目皿側-10	3cm
(ツウリイ・オカワはB-3)	車輪側-11	

基肥	肥料名	土壌区	施用量/10a
BB特15号	15-15-15	砂壤土	2.0~2.6kg
		埴壤土	1.3~2.0kg
		麦跡は10~15kg増	

除草	除草剤名	散布量/10a
	ラクサー乳剤	500ml+水100%

## ⑤的確な中耕培土(土寄せ)

	1回目	2回目
時期	2~3葉期頃 (播種20~25日後頃)	4~5葉期頃 (播種30~35日後頃)
方法	子葉が埋まる程度	初生葉が埋まる程度

水がたまらないよう株もとまで土をとばす  
培土溝は排水口につなぐ

## ⑥畦間かん水

- ・開花後10~40日の間、3日以上晴天が続いたらかん水
- ・圃場全体に水が行きわたったら速やかに排水する

## ⑦病害虫防除(10aあたり)

薬剤区	回	防除剤名	必要量
液剤体系 150%散布/10a	1回目	フレバソフロアブル5	3.7ml
	2回目	ベルコートフロアブル スタークル液剤10	150ml
	3回目	アミスターレボソSE	150ml
粉剤体系	1回目	サイアノックス粉剤	4kg
	2回目	スミチオンベルコート粉剤DL	3kg
	3回目	ズボルドートレボソ粉剤DL	4kg
随時防除	茎疫病	フェスティバLC水和剤	250g
	ハダニ類	マラソン乳剤	75ml
	アブラムシ類	マラソン粉剤3	3kg
	ハスモンヨトウ	フレバソフロアブル5 ロムダン粉剤DL	3.7ml 4kg
		ダニトロンフロアブル	150ml

## ⑧適期刈取・乾燥調製

- ・ほ場内の雑草や青立株は早めに抜き取っておく
- ・子実水分が2%以下になったら刈取開始
- ・午前10時~午後4時の子実が乾いた時間帯に刈取
- ・刈取高は10cm以上
- ・乾燥は外気温+5℃以内、乾減率0.3%/時以下
- ・品質に差がある場合は区分して混ぜない